

# すまいの お手入れ情報

~お手入れ・  
補修の目安~

Vol.21

腐朽菌・しろあり

高温多湿の日本で、住まいの耐久性に大きな影響をもたらすのが、腐朽菌やしろありによる被害です。木造住宅における被害の総額は、全体で見ると火災による被害を超えるといわれており住まいの災害として深刻なものといえます。見えないところで進むことも多く、日頃の住まい方や被害の早期発見が大切です。

## 腐朽菌

腐朽菌は水分、温度、湿度、空気、栄養分の4大要素のもとに繁殖します。

湿度80%以上、温度10°C以上の高温多湿の環境を好み、



酸素を必要とし木材に含まれているセルロースなどを分解して発育します。この4つの要素のうち、湿度や空気、栄養分は調整が難しく、絶つことはできません。そのための水分の管理が何より大切です。



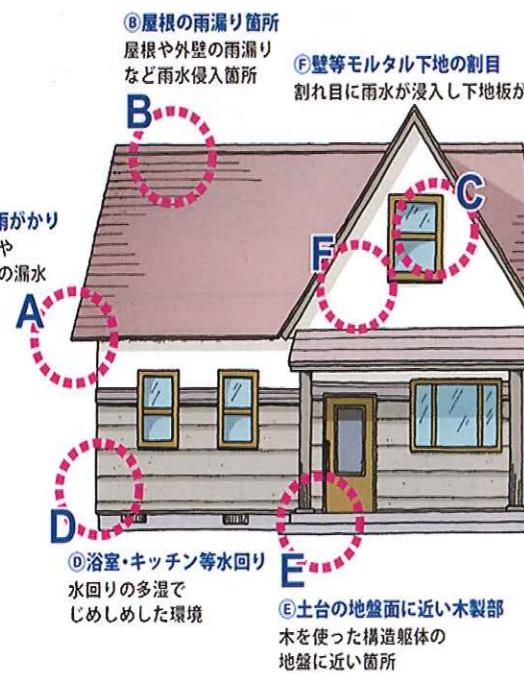
## 被害を受けやすい場所

湿気が多くジメジメした場所や、継続して結露が起きている箇所では腐朽菌が発育しやすく、特に注意が必要です。重点的に掃除、点検するようにしましょう。また、木部の腐朽の点検や補修は専門の業者に依頼しましょう。

### 雨どい付近

雨どいから溢れた水や、破損箇所からの漏水によって腐朽の危険があります。特にモルタル壁に亀裂があると、そこから雨水が浸入し、下地板を腐朽させます。注意しましょう。

※その他、開口部周辺などの結露の生じやすい所は腐食の危険があるので注意しましょう。



### バスルーム、洗面所、キッチンなどの水まわり

湿度が高くなる上、北側に面することが多く、菌が発育しやすい条件をもっています。日頃から水がかかるところや給水管のまわりなどに注意しましょう。

### 土台

最も地盤面に近いところにある木材なので、特に湿気の影響を受けやすくなります。定期的に点検し 10~15年を経過した時点で防腐処理などをし直すことも必要です。

### 屋根または開口部周辺

雨漏りしている部分に注意が必要です。日が当たらない場所は、腐朽菌は、発育しやすくなります。

### 壁などのモルタル下地

モルタル壁などに亀裂があると、そこから雨水が浸入し下地板を腐朽させるおそれがあるので気をつけましょう。

**結露水や設備の漏水などの生じる場所**  
窓まわりなど、継続して濡れている場合は、特に注意が必要です。

## しろあり

### しろあり

住まいに被害を与えるしろありには、主としてヤマトシロアリとイエシロアリの2種類があり、いずれも湿った木材を好みます。

イエシロアリは自分で水分を運ぶことができ、被害が小屋裏にまで及びます。また、日光や外敵を避けるため、木材の外側を薄く残して食べていくので、内部が完全に空洞になっても、外から見ただけでは分かりません。

| 変態            | シロアリ  | 黒アリ                         |
|---------------|---|-----------------------------|
| 不完全変態(蛹にならない) | 数珠状<br>複眼ナシ<br>ぐいれナシ  | "C"の字<br>複眼<br>ぐいれ          |
| 働きアリ          |   |                             |
| 羽アリ           |   |                             |
| ヤマトシロアリ       | 羽は薄く、4枚ともほぼ同じ大きさ<br>根元に切跡線があり、簡単に切り離せる<br>ヤマトシロアリは茶色、イエシロアリは茶色<br>複眼がある | 羽は厚く、前羽が大きく、後羽が小さい<br>複眼がある |
| イエシロアリ        | Gerald J. Lenhart   | Gerald J. Lenhart           |

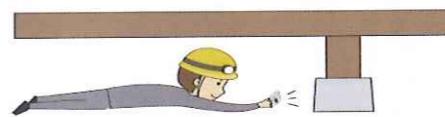
## 被害を受けやすい場所

木材が腐朽すると、菌によって分解された成分の中に、しろありを誘引する物質が多くなるため、しろありの被害を受ける可能性が高くなります。

しろありは、湿気が多く、比較的暖かいところを好みます。床下や水まわり周辺にかんな屑や木片をのこさないようにしましょう。

## 発見方法

- しろありは、なかなか発見が難しいものです。4~7月にかけて羽ありを見付けたら要注意です。
- 近所でしろありが発生した時は、要注意です。
- しろありは光や乾燥を嫌い、自分の排泄物や土砂であり道を作つて建物内に侵入します。床下の基礎内部表面などに地盤面から泥で固めたような道がある場合は、しろありがいると考えられます。
- 床下の木材、地上の柱や梁などの木材を木づちなどでたたいてみます。空洞音がする場合は、しろありがいると考えられます。



## 床下の点検方法

- ①まずは入り口を捜します。通常は床下収納庫や、和室の畳の下などにあります。
- ②汚れても良い服装で点検します。懐中電灯、軍手、マスク、記録用カメラなど用意します。床下に侵入する時はヘルメットを着用します。
- ③狭い部分に体がはさまらないように注意しながら、ゆっくり慎重に床下に入ります。点検には危険が伴なう場合もありますので無理はしないようにしましょう。



## 悪徳業者にご注意を！

しろありの駆除を安全に行うには、専門技術が必要です。

ですが、最近は「しろあり点検を無料で行います！」と言われ点検をしてもらうとしろあり被害にあっている！といわれ、慌ててお願いしろあり駆除をお願いしたこと高額な請求をされた。というお話を良く耳にします。

あわてず、冷静になって、金額は適正なのか、信頼できるところなのか、よく考えてから依頼されるようにして下さい。

当社もしろあり点検、駆除もおこなっておりますので、ご相談ください！

